		第2次	総合詞	計画施	策評価シ-		和4年月	复分》				
 施策コード	基本目標	6 【協働・行財政】 7	市民と行	す政がつなた	がり、共につく	るまち						
6 — 2	施策目標	2 市民協働の推進	1,2401	7+5/17 - 04.11	, , , , , , , , ,							
	目標3. あらゆる	年齢のすべての人々の健康的	的な生活	を確保し、神	国祉を促進する 国祉を促進する	目標10.	各国内及	び各国間の	不平等を是	正する		
	目標4. すべての	人々への包摂的かつ公正な質	質の高い	教育を提供	し、生涯学習の機	会 目標11.	包摂的で	安全かつ強	靱(レジリ	エント) で拝	持続可能な都市	及び人間居住
	を促進する					を実現		わ目がのた	よの中 佐工	肌も強ル)	Hm. St.	s8 1 →
	目標 5. ジェンダ	ー平等を達成し、すべての	女性及び	女児の能力	強化を行う		持続可能 を活性化する		の人と他子	反を独化し、	グローバル・	//— F1 —
SDGs		⊃持続可能な経済成長及びすべ 雇用(ディーセント・ワーク)			産的な雇用と働き	から						
連携分野	目標 9. 強靱 (レ 及びイノベーション	・ジリエント) なインフラ構物 ンの推准を図る	築、包摂	的かつ持続で	可能な産業化の促	進						
	3 まべての人に 日本と等社を	· /mc 3 m 3	E 稿 本	○ 樹まがいむ	A 2014570	40	や国の不平等	and the serve we	47	interpretation of the	1	1
	O @#5.8#€	4 南の高い数余を あんなに 5 表示しよう		8 動きがいも 経済成長も	9 産業と技術革制 基盤をつくろう	10 \$	¢(t)	住み続いられる 湿ちづくりを	W i	ートナーシップで 概を選成しよう		
	<i>-</i> ₩•			1		4	=>	AIIA .	Ç	X		
				Seeded 1			X	18			<u> </u>	
目指すべきま	ちの姿 誰もが地場	域活動に積極的に参加し、多	5様な分野	野にわたって	(、共に活躍して	います。						
	●主要施	i策と概要【PLAN】				この1年	間の成果及	び反省点	DO]		担当課	評価 【CHECK】
	アにおける市民参画・ 第二 占給・評価	協働の促進 見直しに際しては、ワークシ	ノコップ・	かび市民参								
		光直しに除しては、グークを 過程からその見直しまでのit			市民協働課としの際に市民公募	享養員を各2	名採用し市民	民参加の推議	隹を図りま1	した。ま		
	ジント等の企画・運営	への市民及び民間企業の参画	画・協働	を促進しま	た、第2次総合 4回開催、避難	誰所運営にお	いて各小学権				市民協働課	В
	ない情報交換や交流 ペートナーシップの構	を促進し、まちづくりへの意 築を図ります	意識啓発	や参画機会	画・協働を図る	らことができ	ました。					
//IERで 通 し C/	· 1.7 2.9.7 451#45	来を囚りより。 										
(2) 地域活動団]体、NPO等の育成	支援			広報誌・ホーム							
・地域づくり補助	か金制度の周知及び有	効活用を図り、地域活動団体 的な活動を育成・支援します		O、ボラン	た、制度を円滑事例発表や制度						市民協働課	В
/ · 1 / 四	CME / STILL IN	17.4 ILL 30 E P/M	, 0		した。							
	体等の活動拠点施設				地域活動の参加 動の拠点となる	らスペースを	令和4年4月	目にプレオー	ープンしまり	した。今後		
・地域活動の各種 ペースの確保を図		地域活動団体の交流及び活動	めの拠点。	となるス	は更なる市民と図るだけでなく	、市民が参					市民協働課	В
					んでいく必要か	ぶあります。						
●施策目標に対	する市民満足度				II		単位		見状値 (29年度)	目指す方		中間値
市民団体やNPO)などの育成						%		8. 2	7	(1.	(相中中/文)
												15.0
市政への市民参加	の推進						%		11.2			
	●成果	指標		単位	現状値		各名	年度の実績	植		日報 (目指す	票値 方向性)
					(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
	の市民公募委員の登用	1人数		人	4	3	4	6	5		5	6
(2) 市内NPO				団体	5	7	9	9	9		7	10
(3)地域活動拠				か所	0	0	0	0	1		1	1
No	実施計画に係	糸る事業名 ────────────────────────────────────	担	当部署			年	後の進め	方【ACTIO	N]	I	
					市民参画の推進	#を図スため	市民小草/	り登田 1 粉ィ	の批本や	パブリッカ		
(1-1) 審議会等	への市民参画		市县	民協働課	市民参画の推進 コメント、市日 要があります。						現状	維持
					女がめりより。							
					令和4年度はフ							
			\ \rangle_{17}	画政策課	市民活動拠点の	行ってきた	が、令和5年	F度は準備	没階を経た:		現状	維持
(1-2) ヤトミー:	ティングプロジェクト	、事業	TE I	4-22/10/10/10				エの卡や田口				114-1-1
(1-2) ヤトミー:	ティングプロジェクト	、事業	TEP		トの試験運用段 事業を展開して			長の平倍理)	申に向けて、	試験的に		77-1 3
(1-2) ヤトミー:	ティングプロジェクト	- 事業	TE.F	-1007K INK	事業を展開して引き続き、公益	いく必要が 性的な活動に	ある。 を行う団体等	等が、活用	しやすい仕約	組みづくり		//
	ティングプロジェクト	- 事業		民協働課	事業を展開して	いく必要が 性的な活動に 合体等を参考 かにも市ホー	ある。 を行う団体等 にしながら記 ムページ等を	等が、活用しなが 場査・研究と活用しなが	しやすい仕組 し、市民活動	組みづくり 動の活性化	現状	維持

(3)	地域活動拠点施設等整備事業	市民活動スペースが市民の交流の場・拠点としてさらに機能していくよ う利用者目線に立った施設利用の仕組みを調査研究する必要がありま す。	改善
施領		進できるような、適切な事業に支援を行っていけるよう検討し、財政的支払 進できるような、適切な事業に支援を行っていけるよう検討し、財政的支払	爰を行っていきます。ま

			第2	次総合	計画実施	計画事業	評価シート《令	和	4年度分》		
事業No		 実	施計画	に係る事	 事業名		課		グループ		作成日
(1-1)	審議会	等への市民参画					市民協働課	;	市民協働グループ	令和	15年7月18日
■総合計	画の位	位置づけ									
		基本目標	6	【協働	・行財政】「	市民と行政が	つながり、共に [、]	つく	るまち		重点施策
基本言	ப ரு	施策目標	2	市民協	働の推進						
本 平市	11 🖭	主要施策	1	多様な	:分野における	市民参画・協	路働の推進				
		主要事業	1	審議会	等への市民参	⟩画					
		目標17. 持続可	能な開	発のたる	めの実施手段	を強化し、グ	ローバル・パー	トナ	ーシップを活性化する		
SDC 連携分											
		17 パートナーシップで 目標を達成しよう									
		(A)									
		8									
■事業内]容[Pl										
		政策形成過程から 合った行政サービ	っ市民の ごスの届)参画を 関及び	·得ることで、 ·市民の参画意	市民目線に (識の向上を					
事業目	目的	的とします。					主な協働・				
7.7.1	-, -,						関連団体等				
		各種行政計画の第 募やワークショッ	ቹ定、点 ップなと	i検・評 iにより	4価、見直しに 市民参画・協	工際し、委員会 協働体制の充実	と				
事業概	要要	を図ります。					即本十二				
3.5(2)	<i>,</i> ,,,						関連する個別計画・				
			ı				根拠法令等				
事業の[終]		開始年度	令和元	年度	終了年度	令和10 年度					

■事業費(単位	::千円)【DO】										
	令和4年度	(実績)	令	和4年度((計画)	令和	和5年度(計	画)	令和	和6年度(計	画)
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内記 (具体的な		事業費 (直接経費)	内訴 (具体的な		事業費 直接経費)	内訴 (具体的な		事業費 直接経費)
					0			0			0
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	

	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
事業内訳	/ 1 かり なま / 1 かま		/+ +	ウエノ		/+ + = + :	ن حر		/+ + = + :	ウ エヽ	
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	镇)	
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	

	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助	額)	
	合計	0	合	āl	0	合	計	0	合	al	0
	(補助額)	0	(補助	額)	0	(補助額	值)	0	(補助	須)	0
	成果指標		単位	現状値			r年度の実績		A		指す方向性)
(1) 家議会等への	の市民公募委員の登用	■ 人数·	人	(平成29年度	会和元年度	令和2年度 4	令和3年度 6	令和4年度 5	令和5年度	令和5年度 5	令和10年度 6
(土) 田城五寸 (- 中心公分女员公立川	1/ \2/\		1	,	1	Ŭ				Ŭ
	-			<u> </u>							

■事業の評価【CHECK】

指標の分析

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	市民参画の手法・制度としてパブリックコメント・ワークショップ・市民意識調査 (アンケート)・市民公募委員等があげられます。これらは行政運営の市民参画の推進や幅広い意見を掘り起こすためにも市民公募委員は必要です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性	パブリックコメントやワークショップ等について、市民参画 の機会を設ける際には、広報誌や市ホームページで広く周知 し、募集を行っています。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	各種審議会等は市が実施するため、市民参画機会の提供も市が実施する必要があります。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	審議会等への市民参画は、総合計画における市民協働の推進を図るために必要な事業であり、多様な分野における市民参画・協働の促進に繋がります。

市民公募委員の登用人数は前年に比べて、1名の減となっていますが、令和5年度の目標値を達成しています。

課長意見	方向性
市民参画の推進を図るため、市民公募の登用人数の拡充や、パブリックコメント、市民の意向調査(アンケート)等の手法を充実させていく必要があります。	現状維持

		第2	次総合計画実施計画事業詞	平価シート《令和	和4年度分》								
業No	身	施計画	に係る事業名	課	グループ	作成日							
(1-2)	トミ―ティングプロシ	ーティングプロジェクト事業 企画政策課 政策推進グループ 令和 位置づけ											
総合計画	の位置づけ			•	1								
	基本目標	6	【協働・行財政】 市民と行政が	つながり、共につ	くるまち	重点施策							
基本計画	施策目標	2	市民協働の推進										
至小川口	主要施策	1	多様な分野における市民参画・協	協働の促進									
	主要事業	-	ヤトミ―ティングプロジェクト	業									
	目標3. あらぬ	る年齢	のすべての人々の健康的な生活を	確保し、福祉を促	進する								
	目標4. すべて	の人々	への包摂的かつ公正な質の高い教	育を提供し、生涯	学習の機会を促進する								
	目標 6. すべて	の人々	の水と衛生の利用可能性と持続可	能な管理を確保す	<u>る</u>								
	目標 8. 包摂的 (ディーセント		だ続可能な経済成長及びすべての人 ク)を促進する	々の完全かつ生産	的な雇用と働きがいのある。	人間らしい雇用							
00.0	目標 9. 強靱	目標 9. 強靱 (レジリエント) なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る											
SDGs 連携分野	目標10. 各国内	目標10. 各国内及び各国間の不平等を是正する											
	目標11. 包摂的	目標11. 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する											
	目標17. 持続可	目標17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する											
	3 すべての人に 他族と間をモ	製の高い教 みんなに	第 5 デュンゲー平等を 8 概念がいも 原深成長も	9 高東と技術等新の 高盤をつくらう	Negomes 11 Badisha €acts 11 Badisha	17 #->->-yT@							
事業内容	<u> </u>												
事業目的	関わらず、誰も	所、年齢 が活路。	時」、「何かを頑張ろうと思った 齢や性別、置かれている境遇などに と活躍の機会を見出せるまちの実理	´- テ	方創生事業プロジェクト会 ィング)	議(通称:ヤトミー							
	市内になる学り	}> 	や場所などの地域資源を、市民の										
	ニーズとマッチ このことを、市	ングさ [・] と市民	せる仕組みを構築します。 との共同組織であるヤトミーティン	> 1.	2期弥富市まち・ひと・し	ごと創生総合戦略							
事業概要	グと実施してい	さます。		関連する 個別計画・									
				根拠法令等									

事業の開始・ 終了

令和4 年度

開始年度

終了年度

令和6 年度

■事業費(単位	::千円)【DO】										
	令和4年度	(実績)	令:	和4年度((計画)	令和	和5年度(計	画)	令和6	6年度(計画	画)
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内部 (具体的な		事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な		事業費 直接経費)	内訳 (具体的な		事業費 直接経費)
	まち・ひと・しごと創生 推進事業支援業務委託料	4, 730	まち・ひと・1 推進事業支援美	しごと創生 業務委託料	5, 000	まち・ひと・し 推進事業支援業	ごと創生 終委託料	5, 000	まち・ひと・し 推進事業支援業	ごと創生 務委託料	5, 000
	(補助額)	2, 365	(補助額)		2, 500	(補助額	額)	2, 500	(補助額	頁)	2, 500
	(補助額)		(補助	額)		(補助額	額)		(補助額	頁)	
事業内訳											
	(補助額)		(補助	額)		(補助額)			(補助額	頁)	
	/±4 11 4±/		/ 1- 7.1	φ±/		/ ↓ → □ ↓ ;	5±\		∕ ↓₽ □↓⊬		
	(補助額)		(補助	額)		(補助額	镇)		(補助額	貝)	
	(補助額)		(補助	額)		(補助額	額)		 (補助客	盾)	
	合 計	4, 730	合	計	5,000	合	計	5,000		計	5, 000
	(補助額)	2, 365	(補助	順)	2, 500	(補助割	a)	2, 500	(補助都	i)	2, 500
	成果指標		単位	現状値			·年度の実績		会和5年度		指す方向性) 令和10年度
				(1 100254):	27 日和九千茂	可加乙干及	17和10年及	可和中干皮	市和5千度	中では、	17和10平及

指標の分析

■事業の評価【CHECK】

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	市民の中には、得意なことがある、やってあげたいことがある、という人はいるが、支援の方法がわからない、活躍の場がない、活動する敷居が高いなどの意見があります。 誰もが活躍できる場をつくるとともに、多様な主体が連携・協力できるようなネットワークを構築し、それぞれの強みが活かされ、弱みが補われるようなまちづくりの仕組みを作っていく必要があります。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性	ヤトミーティングとの打合せに積極的にWeb会議ツールを用いて、その場にいなくても打合せに参加できる体制を整えました。
妥当性	・本・仕民・団体で継が実施するのが良いか	市がカバーできない市民ニーズへの対応や、市民ニーズとのマッチングは市民団体やNPO団体等が補っていくことが望ましく、各種団体は市内に存在するものの、その団体と市民や、団体同士をつなぐ中間支援を行う団体が市内に存在しないため、市が実施を促す必要がある。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	総合計画における市民協働の推進を図るために必要な事業であり、市民の暮らしやすさに繋がります。

課長意見	方向性
令和4年度はプロジェクト実施に向けた検討・準備段階であったため、市民活動拠点の整備活用計画の作成や 弥富市地域資源バンクウェブサイトの制作などを行ってきたが、令和5年度は準備段階を経たプロジェクトの 試験運用段階であることから、事業の本格運用に向けて、試験的に事業を展開していく必要がある。	現状維持

			第2	次総合	合計画実施	拖計画事業	評価シート《	令和4			
事業No		実	:施計画	に係る事	事業名		課		グループ	作成日	
(2)	協働の	まちづくり推進事	業				市民協働詞	課	市民協働グループ	令和5年7月18日	
総合	計画の位	位置づけ									
		基本目標	6	【協働	・行財政】	市民と行政	がつながり、共に	こつくる	まち	重点施策	
₩₩	:計画	施策目標	2	市民協	3働の推進						
本 本	・前一四	主要施策	2	地域活							
		主要事業	2	協働の)まちづくり	推進事業					
		目標17. 持続可	能な開	発のたる	めの実施手段	とを強化し、	グローバル・パー	ートナー	・シップを活性化する		
	Gs 分野										
建拐	:刀 ±}'										
		17 パートナーシップで 目標を達成しよう									
		日標を達成しよう									
		8									
事業	内容【PI	ANÌ									
· ㅜ 禾!	· · · · ·	<u>-</u> 地域の団体におい						白沙△	 :、町内会、ボランティ		
		地域で公益的な液を支援することを				体やサークル		日伯五	、 mpri去、 かフンティ	/ 四件	
事業	目的						主な協働・ 関連団体等	NPC)、グループ、コミュニ	ティ推進協議会	
		一定の要件を満た						2h /=> -t-	ᆲ	## . √₪	
		的かつ主体的に行 し、1団体につき	テう公益 き年額 8	益的なコ 5 万円を	マミュニティン で限度として	活動事業に対 補助します。	†		i地域づくり補助金交付		
事業	概要						関連する	弥富市 金交付	ī学区(地区)コミュニ 要綱	ティ推進協議会補助	
							個別計画· 根拠法令等				
重業の)開始•	開始年度		年度	終了年度	令和10 年					

■事業費(単位	立:千円)【DO】										
	令和4年度	(実績)	令	和4年度((計画)	令和	和5年度(言	十画)	令和	116年度(記	十画)
	内訳 (具体的な内容)	事業費 (直接経費)	内訓 (具体的な		事業費 (直接経費)	内訴 (具体的な		事業費 (直接経費)	内訳 (具体的な		事業費 (直接経費)
	地域づくり補助金	1, 037	地域づく 金	り補助	2, 350	地域づく 金	り補助	2, 350	地域づく! 金) 補助	2, 350
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助額	額)	
	コミュニティ推進協議会 補助金	コミュニティ推進協議会 補助金 3,858		推進協議会	13, 000	コミュニティ推進協議会 補助金		13, 000	コミュニティ推 補助金	進協議会	13, 000
	(補助額)	(補助額)		(補助額)		(補助	額)		(補助額	類)	
事業内訳	(補助額)		(補助	額)		(補助額)		(補月		類)	
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助額	額)	
	(補助額)		(補助	額)		(補助額)			(補助額)		
	合 計	4, 895	合	ā l	15, 350	合	하	15, 350	合	計	15, 350
	(補助額)	0	(補助	額)	0	(補助	須)	0	(補助都	須)	0
	成果指標		単位	現状値			·年度の実績				指す方向性)
				(平成29年度	度) 令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(2) 市内NPO	>+ 1 *6		田井	5	7	9	9	9		7	10
(Z) THINPO	広八 数		団体	Б	1	9	9	9		- (10

市内NPO法人数については、前年度と同様9団体であり、令和5年度の目標値を達成しています。

■事業の評価【CHECK】

指標の分析

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	市民と行政との協働のまちづくりを推進するため、地域の団体などが行う自主的な公益性のある地域活動に対し、資金面の支援等の様々な行政支援が必要です。
効率性		対象経費について、補助金を適切に使用しているか確認する ため、団体の代表者等が申請書を提出する際には事業内容や 経費の使途等を聞き取り、実績報告書を提出する際には当該 事業を行った結果に対する効果検証等について報告を受け確 認を行っております。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	地域が抱える課題を行政だけで解決することは困難です。市 民や、NPO団体等と連携してまちづくりをを行うため、団 体が行う地域活動に対して、引き続き市が支援を行う必要が あります。
施策への貢献度		協働のまちづくり推進事業は、総合計画における市民協働の 推進に必要な事業であり、地域活動団体、NPO等の育成・ 支援は地域の支援に繋がります。

課長意見	方向性
引き続き、公益的な活動にを行う団体等が、活用しやすい仕組みづくりについて他自治体等を参考にしながら 調査・研究し、市民活動の活性化を推進するためにも市ホームページ等を活用しながら制度や団体等の周知を 積極的に行っていく必要があります。	現状維持

第2次総合計画実施計画事業評価シート《令和4年度分》											
事業No		実施計画に係る事業名					= E		グループ	作成日	
(3)	地域活	舌動拠点施設等整備事業				市民協	為働課	市民協働グループ	令和	15年7月18日	
■総合計	†画の位	位置づけ									
基本計画		基本目標	6 【協働・行財政】 市民と行政がつながり、共につくるまち								重点施策
		施策目標	2	市民協働の推進							
本 本。	il 🖭	主要施策	3	地域活動団体等の活動拠点施設等の整備							
		主要事業		地域活動拠点施設等整備事業							
		目標17. 持続可	能な開	発のたる	めの実施手段	を強化し、	グローバル・	パート	ナーシップを活性化する		
SD(連携分											
~=1757											
		17 パートナーシップで 目標を達成しよう									
		60									
■事業内	内容【PL	_AN]									
		市民との協働を目が気軽に参加でき	目指した きる場を	こまちづ と提供し	くりを推進す 、自主性・主	「るため、誰 E体性を持っ	もった	N	PO、地域活動団体		
+ ₩ (市民活動を支援す	けること	を目的	とします。		主な協	働•			
事業[目的						関連団	本等			
		地域活動の各種情び活動の拠点とな					ī及				
事業概要		び活動の拠点となるスペースの整備を行います。									
		関連する 個別計画・									
							根拠法	令等			
事業の		開始年度	令和元	年度	終了年度	令和10 年	度				

■事業費(単位	::千円)【DO】										
令和4年度(実績)				令和4年度(計画)		令和5年度(計画)			令和6年度(計画)		
	内訳 (具体的な内容)	事業費(直接経費)	内部 (具体的な		事業費 (直接経費)	内訴 (具体的な		事業費 直接経費)	内訳 (具体的な		事業費 (直接経費)
	/++ n1 hz \	0		φ±/	0	/ 		0	/ <u>1</u> + nı a		0
	(補助額)		(補助	額)		(補助	類)		(補助額	祖)	
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助額	額)	
事業内訳	(補助額)		(補助	額)		(補助	餌)		(補助	<u></u> 貊)	
	(III) PJ LR		(1102)	ug/		(1111931	187		(1119)	137	
	(補助額)	•	(補助	額)		(補助	額)		(補助額	額)	
	(補助額)		(補助	額)		(補助	額)		(補助額	額)	
	合 計	0	合	計	0	合	ill	0	合	計	0
	(補助額)	0	(補助		0	(補助額		0	(補助都		0
	成果指標		単位	現状値			・年度の実績		A.Ta.= (= ==		指す方向性)
				(平成29年度)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度	令和10年度
(3) 地域活動拠点	京施設数 		か所	0	0	0	0	1		1	1

指標の分析 令和4年度に、市民活動スペースがプレオープンしました。

■事業の	評価【CH	ECK]
------	-------	------

項目	評価視点	評価の結果
必要性	・住民のために効果的なものであり、求められているか ・市民ニーズ、社会需要 ・市民生活上必要であるか	市民活動スペースは、地域活動を行う各団体の活動内容や活動状況、協働の取組事例などの情報を発信する活動拠点となるため必要です。
効率性	・前年に比べてどのように工夫したのか・コストの削減、費用対効果・執行体制の効率性・手段の最適性	市民や市民団体等が利用しやすい拠点づくりのため、周辺自治体の状況や情報収集を積極的に行いました。
妥当性	・市・住民・団体で誰が実施するのが良いか	公共施設内に拠点を整備することで、施設利用料等を、最小限に抑えることができます。市民主体のまちづくりを継続していくためには、市が実施する必要があります。
施策への貢献度	・施策への貢献度・目標達成度・市民サービスへの効果	地域活動拠点施設等整備事業は、総合計画における市民協働 の推進に必要な事業であり、活動場所を整備することは、地 域活動の参加促進や、充実に繋がります。

■「夜の足の方【ACTION】	
課長意見	方向性
市民活動スペースが市民の交流の場・拠点としてさらに機能していくよう利用者目線に立った施設利用の仕組 みを調査研究する必要があります。	改善